

学校評価（保護者用：7月）

「学校の取組として児童の育成に効果が表れているもの」 の保護者コメントについて

学習指導・生活指導

- 相手を思う気持ちなど優しい気持ちを持てるようになってきていると思います
- 先生の教えやお話を、帰宅してよく話してくれている。難しい漢字の覚え方など、先生が工夫されて指導してくれている事が嬉しいです。
- いつもありがとうございます。黒浜西小は優しい先生優しい児童が多く、あいさつができる人が多いです。思いやりがあり主体的に動ける児童が多くて素敵です。
- 幼稚園の時よりお友達の話や学校であった出来事を話すようになり、毎日刺激的で楽しんでいることが伝わります。持ち前の集中力と粘り強さに加え、積極性も出てきたように思います。子供たちが主体的に参加することで達成感を感じたり、それが自信につながったりして大きく成長しているのを感じました。日々の授業の工夫や大変な準備をしていただき先生方のご尽力には感謝の気持ちでいっぱいです。
- いつもお世話になっております。担任の小林先生の事が大好きなようで、4.5年と担任でとても喜んでいきます。親としても、その様に話している姿を見るのはとても嬉しいです。これからもよろしくお願い致します。
- 読書をする時間がある為自分で選んで楽しく読めており以前よりも読む本の種類が増えたと思う。
- 生活の授業でシャボン玉遊び・水遊びをした時、先生も一緒になって濡れて遊んでくれたと嬉しそうに子どもが話していました。先生自ら動いてくれることで授業に意欲的に取り組めたようです。
- 4月から転入し、すぐに新しい学校生活に馴染むことができたのは、先生方のおかげだと思っています。子供は毎日学校に登校するのを楽しみにしております。ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

A 学校は学習する場であると同時に、子供たち同士が様々な体験を通してコミュニケーション能力を育む場でもあります。黒浜西小学校では、子供たちが授業の中で「わかった」「できた」と学ぶことの喜びを十分に味わうことができる質の高い授業を目指します。また、行事や様々な体験を通して子供たちが自己肯定感を高められるよう、子供たちのよさを多面的に捉えて褒めていきます。

特色ある教育活動

- 花いっぱいプロジェクトはとても良いと思います。参観時に親子で眺めている姿を目にしました。自己肯定感につながり、自分の良さに気がつくきっかけになると思いました。
- 行事での役割や縦割り班活動や学区探検

A 黒浜西小学校では、年間を通して縦割りの活動が計画的に実施されています。高学年の子供たちは下級生に対して思いやりの気持ちをもって接することができており、下級生は優しい高学年のお兄さん、お姉さんを慕って、笑顔で話しかけています。とても微笑ましく、良好な人間関係ができています。4月下旬から始めた「花いっぱいプロジェクト」は子供たちに浸透し、1学期末に掲示コーナーが満開になりました。子供たちが友達の頑張りや良さをたくさん見つけてくれたことを嬉しく思います。また、運動会では保護者の方からもたくさんのメッセージをいただきました。子供たちはとても喜んでおり、自己肯定感を高めることに繋がりました。今後はさらに様々な場面で子供たちの活躍を見ていただくとともに、子供たちから保護者の皆様や、地域の方々へ感謝の気持ちを伝えるツールとして活用に広がりをもたせていきたいと考えています。

教育相談・いじめ防止

- 先日、教育相談を申し込み、先生とお話して、学校生活の様子を垣間見ることができた気がしました。子供本人から聞く話だけではなく、先生目から気になる点をご指摘していただき、それを家庭で改善できるように、努めています。その成果が出てきているように思えます。しかし、これは家庭で改善傾向が見受けられたのですが、学校生活ではどうなのか、確認できておらず、どうなのか心配しているところです。

- 生徒により先生の対応が違いうように感じます。あくまでも子どもの言っている事ですが。また、仲間はずれなどもあるようです。

A 黒浜西小学校では、計画的に教育相談日を設けておりますが、お子様のこと等で何かお気付きの点、ご心配な点等がありましたら、お気軽にご連絡いただければと思います。

5月、7月に実施した児童アンケートの結果、「学校が楽しくない」等、心配な回答を記入した児童については、担任や学年担当が必ず声を掛け、不安解消に向けて指導、支援を行っております。

どの子にとっても「学校が楽しい」と言ってもらえるよう、保護者の皆様と連携しながら、職員一同で取り組んでまいります。

健康・安全指導

- 下校班での相談事があった際、対応策として先生方による見守り下校を始めていただきました事、心より感謝を申し上げます。子どもたち自身も話し合いの場をもてたことや、先生方に見守られながら下校したことで、改めて安全に帰ることの大切さを確認できたのではないかと思います。子どもたちも少しずつ意識が変わってきたかと思っておりますので、季節柄、くれぐれも見守り下校について先生方の体調にご負担のないよう考えていただけると幸いです。真摯にご相談に向き合ってください、本当にありがとうございました。
- 食育のせいかわかりませんが、小学校の給食を食べ始めてから家でも、サラダや生野菜を自ら食べるようになりました。勉強面では、帰って来たら、言われなくても宿題をやり始めるようになった事は、感心しています。

A 子供たち安全や健康は、最優先すべきことです。しかし、どちらも学校だけでは成り立たないものでもあります。登下校、放課後の安全については保護者や地域の皆様のご協力が不可欠です。また、食育を含む健康面についても保護者の皆様のお力が大きいと言えます。それぞれの立場でよりよい子供たちの成長のために協力していけたらと思います。

開かれた教育活動

- 係や掃除などで、役割がある事責任、嬉しさを感じているからか、地域の掃除や家の草むしりを喜んで行っている。
- 学習参観がただの発表会…ということが多すぎると思います。普通に普通の授業の様子を参観したいです。黒浜西中は土曜参観で2時間の公開をしていて非常に良かったです。授業で勝負している先生の姿が見たいです。
- プログラミングや英会話など、民間や大学の力も借りて色々体験させて欲しい。

A 子供たちが地域で活躍する姿は、黒浜西小学校が目指す理想の児童像です。そのような子供たちがますます増えていくように、今後も地域に目を向けて教育活動に取り組んでまいります。

学校公開については、2学期の中で通常の授業を見ていただく機会を検討してまいります。

プログラミングや英会話に限らず、地域人材を再発掘し、子供たちが体験的に学ぶ機会を工夫してまいります。